

研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし

(豊田綱領より)

緑友

全国印刷緑友会
http://www.greenfriend.jp/

今後の行事予定
2009年5月23日(土)
第52回 全国印刷緑友会
山梨総会

発行: 全国印刷緑友会
責任者: Y-ING 情報メディア研究会
井上雅博
編集人: Y-ING 情報メディア研究会
齊藤理

FAX不要な方はこちらへご連絡下さい

第40回全国印刷緑友会 名古屋セミナーを終えて

第40回全国印刷緑友会 名古屋セミナー 実行委員長 箕浦靖夫



そこには先を見越した市場とトヨタのDNAを受け継ぎつつも、決して変えてはならないもの「変えなければならぬ」



第40回全国印刷緑友会名古屋セミナーが、2月14日(土)、名古屋国際センターにて開催されました。数多くのご来賓、諸先輩の方々、そして全国各地からの緑友同志、関係者の皆様、総勢220名の方々に集まりました。今回の名古屋セミナーでは、ものづくり「愛知」を掲げ、式典、セミナー基調講演、グループディスカッション、懇親会の4部構成で開催されました。式典では、開会宣言から始まり国歌斉唱、綱領昌和 紹介、挨拶、閉会宣言と粛々と進みました。

当会員のことを、全国緑友の同志一人でも多くの方にお伝えしたい想いから設営をさせていただき、この機会を利用して初めて会社案内を作成しました。懇親会では、1昨年に行われ、名古屋屋而立会創立50周年行事のお礼を含め、緑友会にご恩返しをしたい気持ちから名古屋セミナーをご設営させていただきました。このことを延べ終りました。

セミナー基調講演では、トヨタ自動車(株)レクサス国内営業部担当部長 阿部豊久氏を迎え、世界のリーディングカンパニーであるトヨタが、どのような危機感を感じ、レクサスを立ち上げたのか。



この名古屋セミナー

名古屋セミナーへ寄せて

全国印刷緑友会 会長 岩重昌勝



2004年、2005年と続いたロコモ、一年のブランク後に地方都市宮崎で開催されたロコモは新たな時代の幕開けを予感させ、それらに何らかの形で携わった者全員に高揚感と達成感を齎し、次は何かを期待させました。私も緑友の常任幹事としてその誕生前から議論に加わり胸が躍ったのを昨日のこのように思い出されます。

ことでした。開催するに付き合っても良いけどしなやかなコトで困らないなコトです。一同に会すことだけで意義を見出すことは費用対効果がありません。財政に困らなければ、その地があり、その緑友会があり、その緑友会が新しいセミナーを開催して新しい会員達に成果を問うべきではと決心し、それまで出来上がりの議論を一旦保留して、緑友会単独でセミナー開催を宣言しました。只この決断に反発した会員の多さ、時代逆行するものだ。とか、現会長にはもう何も期待しない、次期会長の登壇を願う。と激しく罵られました。この非難や中傷に答えるにはどうしても名古屋セミナーを成功させねばなりません。

身の内を激しく揺るがした。安んじ録録、自らを曝け出すというブルディスカッション、分け隔てなく語り合え、杯を酌み交わす懇親会。すべて先輩達がやり、教え、残してくれたセミナーの形です。そして本年2月14日、奇しくも他団体との連携を提唱し、第1回ロコモ実現に尽くした矢谷元会長の七回忌命日に名古屋而立会が素晴らしいセミナーを実現してくれました。

今回のセミナーの成果は色々ありますが、特筆すべきは而立会の次代を担う経験も浅いメンバーに全ての準備を任せ、やり抜いた点ではないでしょうか。これは大きな自信となり、携わったメンバー全員に大きな人生に大きく寄与するものでしょう。この刺激と体験が主力グループの今後の起爆剤になるのです。これを全国のグループが代わる代わる我が物にして50年の歴史を紡いでいくのです。時代は変わります。しかし先人の遺産を正しく評価し踏襲することなく時代とそこの都合で変えていいものではないと思います。たときこそ振り出しに戻ってみる。この名古屋の一日は、緑友会次なる50年の指針を示せたと言えましょう。名古屋而立会の皆さん、心より感謝申し上げます。有難う。

リレーエッセイ

私と緑友会

全国印刷緑友会 南九州ブロック担当常任 藤井直樹 (熊本県印刷緑友会)



私と緑友会の出会いは、今から遡ること、15年程昔のこと。東京から帰郷し、数年後のことだった。同業者の方からのお誘いで熊本県印刷緑友会に入会となった。熊本の業界について、右も左も判らない状況でのデビュー。営業を担当していたわけでもない、そんな環境でした。取りあえず、例会に出て懇親会に参加するという事だった。酒飲むのは好きな方でしたから、早速、懇親会まで参加。状況が理解出来るまで、少々時間を要したと思います。そのうち、先輩から全国総会や大会へ、当時、大鶴先輩に連れられて、全国色々なところへお邪魔させていただきました。当時、先輩からそのうち、後継げよと言われつつ、マネできないと感じていました。総会や大会・セミナーと本当に勉強になりました。朝まで話し込むことも、一度や二度ではありません。緑友会とは、不思議な組織だなと感じます。各グループの声で動く組織。同業者なんだけど、色々話せることもある。でも、そう感じている人が、どれだけいるのか？その数は、極々少数派だと感じます。そう振り返ると、当初、気乗りしなかった参加でしたが、先輩や出会った方々から頂戴したモノは、大きいと感じます。気乗りしないそのアナタ。そろそろ出番ですよ。自分の壁を乗り越えましょう。大きなお世話ですけど... 南九州の常任として何の役にも立ちませんでした。ごめんなさい。

編集後記

吉野家ホールディングスの安部修仁社長は、米産牛肉の輸入停止という危機をいかに克服したかを振り返って、現場のリーダーには、朝令暮改を奨励すると言言した。と、語ったそうである。変化のスピードが、速くなればなるほど、次々に方針が変わるのを恐れて対応が先送りになることだけは避けなくてはならない。我々も、ガンガン挑戦して、圧倒的になっちゃえばいい。 日日は好日。(徹熊)